

2023

7.12 (水) 12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_RdxnucfFT5iKjz96_zP_jQ

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

脱炭素社会実現に向けた 水素エネルギーの役割と課題

司会：銭 琨 准教授 (Q-AOS 創発推進コーディネーター)

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに9 産業と技術革新の
基盤をつくらう13 気候変動に
具体的な対策を

Key Words

水素エネルギー

燃料電池

水電解

高分子電解質

西原 正通 教授

九州大学 水素エネルギー国際研究センター



熊本市出身。専門は高分子化学。2003年熊本大学大学院で工学の博士号を修了、2003年スイス、ジュネーブ大学博士研究員、2005年神奈川科学技術アカデミー研究員を経て、2009年から九州大学先端物質化学研究所で特任助教として研究を開始しました。2011年カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所助教、2016年次世代燃料電池産学連携研究センター准教授を経て、現職。この間に、社会人向けメディカルコースである東京女子医科大学バイオメディカルカリキュラム修了(2006年)、2021年に豊田中央研究所にて客員研究員として民間企業で燃料電池研究に従事しました。現在の研究テーマは、燃料電池、水電解セルなどの水素エネルギーデバイスの高性能化と高耐久化を、高分子材料の観点から解決することに取り組んでいます。

近年、地球温暖化の解決に向け、世界各国で脱炭素化の動きが加速しています。この大きな潮流の中で、水素エネルギーは発電、製造業、運輸など言った幅広い産業分野での脱炭素化を実現させるキーテクノロジーとして注目されています。

本セミナーでは、この水素エネルギーがどのように脱炭素化に寄与するのか、またその課題はどこにあるのかについて解説します。また本セミナーでは、演者が近年取り組んでいる水素を燃料として電気を発電し、モーターで走行する燃料電池自動車について、その特長を解説し、今後の普及に向けた課題とその解決に向けた取り組みについても解説を行います。